

1 回目のウクライナ支援義援金を寄付しました

スポーツのある日常が戻るよう、7月まで引き続き募集します

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO (正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 伊藤雅俊) は、公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC)、公益財団法人日本パラスポーツ協会 (JPSA) とともに協力し、義援金を募集しております。

この度、5 月末日までに集まった義援金 円 4,000,000 を、特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会<日本における国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) の公式支援窓口>に寄付しました (1 回目)。

多くの方々から貴重なご寄付をお寄せいただき、深くお礼申し上げます。

同義援金は、ウクライナに平和が戻り、そしてスポーツ活動が 1 日でも早く再開できるよう、4 月 22 日から募集を開始し、競技団体、地域のスポーツ団体、アスリート、スポーツ指導者、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなど、多くの方に協力を呼びかけ、7 月 29 日まで募集しています。

【ご参考】 <https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4561>

「ウクライナに、平和な日々が訪れ、一刻も早く心からスポーツを楽しめる環境が戻るように、今できることを少しでも行いたい。」

この思いから、スポーツ統括 3 団体 (JSPO、JOC、JPSA) は、引き続き、義援金を募集します。本取り組みのご周知について、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 寄付額: 4,000,000 円 (寄付件数 141 件)

■ 寄付先: 特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会

■ 実施団体: 日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本パラスポーツ協会

■ 義援金募集時期: 令和 4 年 7 月 29 日まで

■ 参考資料: 別紙「ウクライナへの義援募金について(お願い)」


◆JSP0(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSP0 は、1911 年 7 月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018 年 4 月 1 日、現在の名称となりました。

JSP0 では、国民体育大会や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。

また、わが国スポーツの統一組織として、国や 60 を超える競技団体、47 都道府県スポーツ・体育協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

- ▶ JSP0 ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>
- ▶ JSP0 事業概要パンフレット <https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読 15 分)

 **JSP0** スポーツと、望む未来へ。
Japan Sport Association

We support sport in Japan

JSP0 OFFICIAL PARTNER

 **asics**

大塚製薬

 **Mizuno**

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ

 **ニチバン**

日本文化出版

 **図書印刷**

時事通信